

# 意見交換会開催結果概要

- 1 開催日時 平成28年7月25日（月）
- 2 時 間 開会 午後7時～ 閉会 午後8時34分
- 3 場 所 金沢市ものづくり会館 第2、3研修室
- 4 参加人数 48名
- 5 出席議員 福田太郎議長、野本正人副議長、  
長坂星児経済環境常任委員長、  
坂本泰広経済環境常任副委員長、  
清水邦彦経済環境常任委員、森 一敏経済環境常任委員、  
宮崎雅人経済環境常任委員、森尾嘉昭経済環境常任委員、  
澤飯英樹経済環境常任委員、  
高 誠総務常任委員長、  
源野和清市民福祉常任委員長、  
麦田 徹建設企業常任委員長、  
喜多浩一文教消防常任委員長、  
（オブザーバー議員）  
上田雅大議員、小間井大祐議員、中川俊一議員、  
熊野盛夫議員、大桑初枝議員、広田美代議員、  
下沢広伸議員、高岩勝人議員、久保洋子議員、  
黒沢和規議員、山本由起子議員、小阪栄進議員、  
小林 誠議員、秋島 太議員、角野恵美子議員、  
玉野 道議員、安達 前議員、横越 徹議員
- 6 次 第 別紙のとおり
- 7 結果概要 以下のとおり

坂本泰広経済環境常任副委員長の進行のもと、福田太郎議長の開会挨拶に引き続き、出席議員及び団体からの出席者の紹介を行った。次に、清水邦彦経済環境常任委員から平成28年度金沢市議会6月定例会議会報告を行った。長坂星児経済環境常任委員長に進行をかわり、森一敏経済環境常任委員から意見交換会テーマ報告として「金沢の農業と森づくりプラン2025について」の報告を行った後、団体からの出席者及び市民とテーマに関する意見交換を行った。坂本泰広経済環境常任副委員長の進行に戻り、野本正人副議長の閉会挨拶で閉会した。

## 1. 開 会

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

皆さん、こんばんは。

定刻となりましたので、ただいまより金沢市議会意見交換会を開催いたします。本日の司会進行を務めさせていただきます経済環境常任委員会副委員長の坂本泰広でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、着席にて失礼いたします。

## 2. 開会挨拶

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

開会に当たりまして金沢市議会、福田太郎議長から皆様方に御挨拶を申し上げます。福田議長、よろしくお願いいたします。

【福田太郎議長】

皆さん、こんばんは。

本日は金沢市議会の意見交換会に、大変お仕事帰りのお忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

この意見交換会ですけれども、平成26年から実施していきまして、今回が今年度2回目の開催となります。

本日の意見交換会のテーマは「金沢の農業と森づくりプラン2025」についてであります。我々の生活を支える食料はもちろんであります。豊かな自然や地下水の涵養にも役立つ林業における後継者の不足などの諸問題は金沢市においても例外ではございません。国でもいろいろな施策を打ってきておるところでありますけれども、金沢市としてもこういうプランをつくってさまざまな施策を実施していこうと思っておる次第であります。

今回はこのプランについて農業や林業に日々携わっている方々の御意見や議論を聞いて、集まれた皆様の意見をいただいて、議会に今後反映をしていきたいと思っておりますので、本日はよろしくお願いいたします。

本日は御苦勞様です。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。(拍手)

【坂本泰広経済環境常任副委員長】  
議長、ありがとうございました。

### 3. 出席者の紹介

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

ここで、今回出席している議員を紹介いたします。

まず、正副議長ですが、先ほど御挨拶いたしました福田太郎議長でございます。

【福田太郎議長】

よろしく申し上げます。

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

野本正人副議長でございます。

【野本正人金沢市議会副議長】

皆さん、こんばんは。きょうはよろしくお願ひいたします。

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

次に、今回の意見交換会を担当している経済環境常任委員会の委員を紹介いたします。

長坂星児委員長。

【長坂星児経済環境常任委員長】

よろしくお願ひいたします。

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

森尾嘉昭委員。

【森尾嘉昭経済環境常任委員会委員】

こんばんは。よろしくお願ひします。

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

澤飯英樹委員。

【澤飯英樹経済環境常任委員会委員】

よろしくお願ひいたします。

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

宮崎雅人委員。

【宮崎雅人経済環境常任委員会委員】

こんばんは。よろしくお願ひします。

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

清水邦彦委員。

【清水邦彦経済環境常任委員会委員】

こんばんは。よろしくお願ひします。

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

森一敏委員です。

【森一敏経済環境常任委員会委員】

こんばんは。よろしくお願いします。

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

また、経済環境常任委員会のほか4つの常任委員会と議会運営をつかさどる議会運営委員会の各委員会委員長も出席しておりますので、紹介させていただきます。

総務常任委員長であります高誠議員です。

【高誠総務常任委員長】

こんばんは。よろしくお願いします。

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

市民福祉常任委員長であります源野和清議員です。

【源野和清市民福祉常任委員長】

こんばんは。よろしくお願いいたします。

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

建設企業常任委員長であります麦田徹議員です。

【麦田徹建設企業常任委員長】

こんばんは。よろしくお願いします。

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

文教消防常任委員長であります喜多浩一議員です。

【喜多浩一文教消防常任委員長】

こんばんは。よろしくお願いします。

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

議会運営委員長は、先ほど紹介しました経済環境常任委員の清水邦彦議員が務めています。

【清水邦彦議会運営委員会委員長】

改めまして、よろしくお願いします。

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

また、今ほど御紹介しました経済環境常任委員会の委員及び各委員会委員長以外の市議会議員については、オブザーバーとして参加しておりますことを御報告させていただきます。

次に、本日のテーマであります「金沢の農業と森づくりプラン2025」について、意見交換のために農業及び林業に携わっていらっしゃる団体から8名の方に御参加いただいておりますので、御紹介をさせていただきます。

金沢市農業協同組合営業部長、内田智樹様。

【内田智樹金沢市農業協同組合営農部長】

J A金沢市の内田です。よろしくお願いいたします。

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

金沢中央農業協同組合経済部長、中西和章様。

【中西和章金沢中央農業協同組合経済部長】

中西でございます。よろしく申し上げます。

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

金沢農業振興協議会副会長、源時男様。

【源時男金沢農業振興協議会副会長】

源といいます。専業農家をしています。

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

金沢農業振興協議会女性部部長、中村直子様。

【中村直子金沢農業振興協議会女性部部長】

こんばんは。よろしく申し上げます。

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

金沢市農業青年グループ連絡協議会会長、東賢二様。

【東賢二金沢市農業青年グループ連絡協議会会長】

東です。よろしく申し上げます。

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

丸果石川中央青果株式会社常務取締役、岡嶋啓介様。

【岡嶋啓介丸果石川中央青果株式会社常務取締役】

岡嶋と申します。よろしく申し上げます。

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

金沢森林組合本所所長、河崎仁志様。

【河崎仁志金沢森林組合本所所長】

河崎です。よろしく申し上げます。

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

金沢木工センター理事、尾崎知恵子様。

【尾崎知恵子金沢木工センター理事】

尾崎です。どうぞよろしく申し上げます。

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

本日は遅い時間にお集まりをいただき、ありがとうございます。

次に、きょうの意見交換会について簡単に説明いたします。この意見交換は金沢市議会が主催するものであり、金沢市が行っている、あるいはこれから行う事業の説明をしたり解説をしたりする場でないことをあらかじめ御承知ください。

きょう御参加されている市民の代表として議会に出ている議員とさまざまな団体や市民の皆様との意見交換を通じ、金沢市への要望や意見を届けようとするものです。平成26年度から実施しているもので、会ごとにテーマを設けて実施しており、今回は先ほども申し述べました「金沢の農業と森づくりプラン2025」をテーマに意見交換を行います。

受付で配付いたしました資料のうち、意見交換会という表題の資料をごらんください。

この後は、議会報告といたしまして、先般終了しました6月定例会議会の概要について10分程度説明させていただきます。その後、本日のテーマについて15分程度説明し、きょうお越しいただきました農業や林業団体等の方から御意見をいただき、それも踏まえた意見交換を市民の皆様と行いたいと考えております。

#### **4. 議会からの報告**

##### **・平成28年度金沢市議会6月定例会議会報告**

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

それでは、平成28年度金沢市議会6月定例会議会につきまして御報告いたします。報告者は、経済環境常任委員会の清水邦彦委員です。

[清水邦彦経済環境常任委員が平成28年度金沢市議会6月定例会議会報告について別紙のとおり説明]

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

ありがとうございました。

#### **5. テーマに関する意見交換**

##### **・テーマ（金沢の農業と森づくりプラン2025について）についての説明**

【坂本泰広経済環境常任副委員長】

続きまして、本日のテーマに移ります。ここからの進行は、長坂委員長が行います。

【長坂星児経済環境常任委員長】

テーマに関する意見交換の進行を務めさせていただきます経済環境常任委員長の長坂星児です。よろしくお願いたします。

今から説明する資料は、きょうの意見交換会を開催するに当たりまして、皆さんと意識や情報の共有を図ることを目的に、現在、議会として把握している情報をもとに作成いたしました。スライドの資料は、プランの概要、それぞれの事業の概要、議会での質問応答の3点でまとめています。

なお、スライドの資料はお手元に配付しておりますので、見づらい場合はお手元の資料を見ながらお聞きいただければと思います。

また、スライド資料がちょっと遠いものですから、プランの一覧、農業の現状、林業の現状はA3の紙資料で配付させていただいておりますので、あわせてごらんください。

説明は、経済環境常任委員会の森一敏委員が行います。委員、よろしくお願

いたします。

[森一敏経済環境常任委員が意見交換会テーマ報告について別紙に基づき説明]

## ・テーマに対する各関係団体からの意見発表

### 【長坂星児経済環境常任委員長】

それでは、各関係団体の皆様からテーマに対する御意見を順にお聞きしたいと思っております。

まず、農業に関する団体の方々から御意見をお伺いしたいと思っております。お時間が少なく大変申しわけございませんが、それぞれ2分程度でお聞かせいただければというふうに考えております。

それでは、金沢市農業協同組合、内田営農部長さんからお願いいたします。

### 【内田智樹金沢市農業協同組合営農部長】

J A金沢市では、現在、農協改革ということで非常に注目を集めている中で、本年度、地域農業戦略という戦略を策定させていただきました。これは農業者の所得の増大、農業生産の拡大、また地域の振興という3つの柱を目標に掲げて、本年度から5年間の目標を持って進めてまいりたいというふうに思っております。

現在、農業において非常に担い手の問題であったりとか、集落営農の問題、耕作放棄地であったり、中山間地においては農業離れ、また農業者の高齢化等が非常に進んでおるといことで、そういった部分をこの戦略でもって何とか解消、解決できないかなというふうに思っております。

また、その対策の中で我々J A金沢市といたしましては、米穀並びに園芸の中で独自の支援策を打たせていただいて、何とかそういった部分、農地を集約に向かわせるとか、生産の拡大につなげるとか、また新たな新規耕作者の参入とか、そういった部分で、先ほど言いましたように、農業者の所得の増大、また生産の拡大といった部分に何とかつなげていきたいなというふうに思っております。

そういったことをする中で、加賀野菜、金沢そだちといったこの金沢ブランドの農産物もうまく利用、活用させていただいて、これからの農業振興、産地振興につなげていきたいなというふうに思っているところでございます。

以上でございます。

### 【長坂星児経済環境常任委員長】

ありがとうございました。

次に、金沢中央農業協同組合の中西経済部長さん、よろしくお願ひいたします。

### 【中西和章金沢中央農業協同組合経済部長】

金沢中央農協の中西といいます。よろしくお願ひいたします。

金沢市内の中心部鞍月から南は米丸、三馬まで、昔の6校下の中にございまし

て、御存じのとおり市街化が進んでおりまして、現在、農地面積で300ヘクタール弱になってまいりました。恐らく金沢近辺、金沢市内での農地減少が一番進んでいる管内でございます。

そういった中におきまして、認定農家の減少とか、きょう中村さんがお見えになっていきますけれども、専業農家の数が減ってきております。現状といたしましては、耕作放棄地で、転作しなくてもいいんだけど、稲作つくってほしいんだけども担い手がいないという問題が毎年出てきております。頼みの請負耕作者も今年、大口の方が1人おやめになられましたし、農協といたしましては資産管理センターというものを数年前に設立して、農作業を全て請け負っているような状態で事業を進めております。現在、15町歩ほどですが請け負っております。今後まだ見える見込みもございまして、来月、新しいライスセンターも完成する予定で、農家の方々の負託に応える意味で農地を守るという事業は重視して行っておるつもりでございます。

ただ、先ほども言いました市街化が進んでおりまして、農業を続けていく、続けていけるという形のところが非常に後継者不足にも悩んでいるのが現状でございます。

質問の趣旨とは若干違うかもしれませんが、うちの農協、3カ年計画でいろいろと自己改革の工程表を進めておりますが、本当に兼業農家が9割以上の地域でございまして、兼業農家がいかに自分の自宅の農地を守って、そして農業を営んでいけるか、その辺を相談機能を重視しながら、育成も含めて、ある程度の助成も含めて農協のできる範囲でやっていきたいと思っております。行政のほうも用排水の整備等々、市街化近郊の地域なんですけれども、御支援できる範囲でまたお願いしていかなければならないところに来ていると感じています。金沢市内近郊のところでは耕作放棄地ばかりふえてくるのもいかなものかなというところが、うちの農協の現状課題となっております。

以上でございます。

**【長坂星児経済環境常任委員長】**

ありがとうございました。

それでは、次に、金沢農業振興協議会の源副会長さん、お願いいたします。

**【源時男金沢農業振興協議会副会長】**

私、専業農家であんまり広いことは言えませんが、自分の仕事の中で一応しゃべりたいと思います。

担い手育成や新規農業者に関することですが、農業を始めるに当たり、心配なことがあります。まず、生活できるかということです。それともう一つ、機械設備、倉庫などの設備資金が借りられるか、借りられても返すことができるのかというのも心配しております。また、生産物販売について、個人販売でいくか、生産団体の中に入って販売するか、それともそのほかの方法で販売するかという

ことも気になっております。

次に、新規就農者ですけど、できれば1年間農家で作業をする中で、周りの環境もわかり、生産団体とも親しくなることができ、団体の中へ入れやすいのではないかと思います。それと、生産組合、生産団体との話し合いが必要じゃないかと思ひます。

ブランド化の向上、販売、促進、地域消費に関することですけど、強い金沢生産物を表に出し、消費地にアピールしてほしいと思ひます。優良販売につながればよいので、生産意欲も増すかと思ひております。

鳥獣対策ですが、年々被害がふえているので、これは早急に対策してほしいと思ひます。

あと、その他なんですけど、園芸に関しては生産向上には施設、ハウスや機械の更新に関する対策も考慮してほしいということと、農業における次世代交代に関する対策も考慮してほしい。また、後継者ですが、後継者は新規農業者と担い手農業者のどちらに当たるのかなという疑問がある。私らも30年やってきているので道具類が傷んできて、ちょうど交換時期に来ている。そのときに、後継者の名前でお金を借りたりというのがなかなか不便というか、契約が難しいという感じがあるもので、その辺をまた何かしてほしいなというふうに思ひております。

**【長坂星児経済環境常任委員長】**

ありがとうございました。

次に、金沢農業振興協議会女性部の中村部長さん、お願いいたします。

**【中村直子金沢農業振興協議会女性部部長】**

家は、水稻と大麦、大豆の河北潟での二毛作をやっております。今、長男が農業大学の農学部なんですけれども卒業しまして、3年ほど東京で働いていましたけれども、Uターンしてきたので、今のところ後継者にも恵まれています。

でも、今、担い手となっているんですけども、先ほど金沢中央農業の中西さんが言われた担い手不足というか、本当に周りに農業をする人がいないんですね。専業農家も1軒入れましたが、家族の負担がすごく大きいんです。新たな担い手はどうやって開拓していけばいいのか、本当に私たちは、農協さんにやっていただくしか今のところないんですけども、そういう大きな悩みがあります。

私たち女性部は児童に対してよく啓発活動するんですけども、小さ過ぎる、幼過ぎる。私自身も小学校の思い出とか、そんなのほとんどないですし、やっぱり物心ついて将来の進路を決めるときに何かその人たちに響くような政策を考えてほしいなって本当に思ひます。もう20年も前ですが、小松の東コウサクさんが高校時代——翠星高校ですけども、家で2日ほど宿泊体験したことがありました。本人にとっても私たちにとってもよい経験でした。今、東さんは私たちよりもずっと耕作面積もすごいし、年をとっても名前が出るととってもうれしいですね。

済みません、私自身、農業振興会の女性部長に、ことしかかりましたので、本当に知らないことが多過ぎて勉強不足で、本日参りましたが、本当に申しわけないと思っています。

以上です。

**【長坂星児経済環境常任委員長】**

ありがとうございました。

次に、金沢市農業青年グループ連絡協議会、東会長さん、お願いいたします。

**【東賢二金沢市農業青年グループ連絡協議会会長】**

金沢市農業青年グループ連絡協議会会長の東です。

農業青年は、金沢で大体18歳から33歳までの若者同士がみんなで集まって農業のことやいろんなことを話し合っている会です。

例えば先ほどの資料にあった議会の質問応答のように、金沢市農業青年グループで4名から5名、本当の新規就農者があらわれまして、ここに書かれているように、住居はアパートに住んで河北潟やいろんなところに出耕作をやっているというのが現状でして、農業に30分、40分かけて行くのは大変やという話も会の中でしていました。やっと1人だけ近くに家が借りられましたが、やっぱり喜んでましたね。

借りられないと、やっぱり農地の集約ができないんです。もう家を建てるので土地を返してとか言われたりすると、どうしても農業に大事な土づくりができない。金沢の中山間地に就農された方には、土づくりをして「ああ、4年目になって、やっとよくなった」と思ったら、相続などでいきなり「家を建てるんで、済みません、返してください」ということがある。そういうのがちょっと僕ら農業青年としては、いつも話に上ることがあるんで、ちょっとどうにかして考えていただきたいなと農業青年としては思います。

あと、私ごとですが、金沢の崎浦地区の果樹の産地で仕事していますが、果樹の産地はどうしても山の中になるんですが、山の上では本当に農業する方が減ったりとか、農地減らしたりとかして、耕作放棄地がたくさんふえています。耕作放棄地がふえると、今まで三、四人でしていた農道の管理が、今は僕1人でやったりとかするときがあるので、そういうことをどうにか考えていかないかんと思っている。まちでするにも限界があるので、その辺をちょっとお願いしたいなというのは日々農業していて考えていることです。

以上です。

**【長坂星児経済環境常任委員長】**

ありがとうございました。

次に、丸果石川中央青果株式会社、岡嶋常務さん、よろしく申し上げます。

**【岡嶋啓介丸果石川中央青果株式会社常務取締役】**

岡嶋でございます。

このメンバーの中では、私、農業に携わつとるというよりも、流通の人間なので、本当に流通面という部分での話しかちょっと言えません。

農業振興の面において金沢市さんがやられている施策は、私は一つ一つを見ると非常にすばらしいし、大変評価させていただいております。担い手の育成もそうですし、ブランドの付加価値化というものも大変熱心にされていて、加賀野菜は全国でもまれに見るブランドイメージが非常によくなった成功例だとしてモデルケースになっているぐらいでございますので、これはもう今までの皆さんの御尽力のたまものだろうなと思っております。

ただ、そうはいつてもどんどん農家数が減っていく、耕作面積も減っていくということで、ちょっと言い方はひどいかもしれませんが、どんどん沈んでいく部分に関しての一つ一つ何かいい施策をとっても、それが全体の歯どめには全くなっていないという現状があるんだろうなということがあります。

流通の人間として、でも非常に不思議だなと思うのは、例えば私は産地から農産物を出荷していただいて、それを売らしてもらうためにスーパーさんに話をつけるわけですね。主なものは非常にニーズがあって、金沢産の農産物は非常にニーズがある。けども、やはり小売業に求められるのは、常に売り場に豊富に地場物を並べたいというニーズなんですね。それがあつかいと、全てのスーパーに並べられるだけの物流がないのが現状です。だから、結局、企画段階で話は流れます。

この金沢ブームによって県外からもすごく引き合いがあります。金沢特産コーナーを常設したいという話を何度もいただいておりますが、これは全部、話の時点で流れます。ロットが少ないのは、この中山間地の多い金沢、石川県の宿命かもしれませんけれども、ロットが少な過ぎるとするのは非常に悪くして、「何だ、ねえのかよ」という話になっちゃって、そこで興味が終わってしまうということなんです。

金沢の農業大学などで確かにたくさん新規就農を希望する方が育ってくるんだけど、いかんせん、ちょっとその後のアフターケアがちょっといま一つなのかなと感じています。実は石川県でも耕稼塾という同じものを行っているけれども、巣立っていかれた方が今どこで何してるのと言うと、わからないというような話がよくあるんですよ。もしかしてその人たちが育ってきてくれて、産地化に有力な人材になっていけばもっと話は変わってくるんだろうなと思います。そのために一つの思いとしては、金沢市農協さんは本当に金沢市でも最大、石川県でも最大の園芸地で、最大の産地の打木、安原は非常に優秀な生産者が共撰化しています。そういう新規就農の方々が共撰に入っていくという流れが僕はちょっと弱いような気がしていて、ロットをある程度確保するような産地をつくっていかないと本当に販売の面では戦力にならないというのが正直なところなんです。ニーズがあるけど、売るものがないという状況を何とか打開するためにも、その流

通の部分というか、そういうところにちょっとてこ入れする施策をしていただければなというふうに思っています。

以上です。

**【長坂星児経済環境常任委員長】**

ありがとうございました。

次に、森づくりの関係者の意見をいただきます。金沢森林組合、河崎所長さん、お願いいたします。

**【河崎仁志金沢森林組合本所所長】**

金沢森林組合の河崎です。よろしく申し上げます。

今回、森づくりプラン2025ということで、何度も読む機会がありまして、策定にも携わってきました。この中で、健全な森林の育成、森林資源の利用活用、森づくり活動の推進という3つの大きな柱があるんですけども、やはり森林というのは公益的な機能がありまして、環境であったりとか、経済的な機能もあります。その点で、適正な管理、環境に配慮して循環的な経営に成り立つ、配信していかねばいけないというふうに思いますし、そのためにどういうふうにしていくかというのがこのプランからはっきりと出ていないと思いますけれども、一つ一つの実施していく施策の中で出していければよいのではないかとこのように思っています。そのために、森林組合もやはり協力して、いろんな面で市の方といろいろ考えて、市民の方に力をかりながらやっていきたいなというふうに思っております。

2番目の資源利用は、金沢には市営造林がございまして、杉がほとんど管理されております。その金額が昔にくらべて3分の1ぐらいになりまして、なかなか売れない。実際、それを切って、また植えなきゃいけないというのに資源的にもいろいろ問題があるというのが現状です。そのために、こちらのコストもカットしたりとか、杉が高く売れるようにという努力もしていかねばいけない。

あと、木の先ですが、なかなか利用できない。建材に利用できないところはバイオマスということで、日本全国的に動いております。そういう利用であったり、そういうのも進めていかねばいけない。

杉林にしてもさわれず、80年ほど置いておくとなるとやっぱり40年ぐらい収入が何も入らないということがありますので、いろいろなレクリエーションであったりとか、そういうところを利用した何か産物を植えたりとか、そういうことも考えていければいいかとは思っております。

3番目の森づくり活動の件ですけども、私はいつも森づくりは人づくりと思っています。幾らいい商品売ろうと思って、デザインがよくても、一時的なものになりますので、継続してやる。特に森林は80年とか100年とかつないでいくには、結局、人しかありませんので、そういう点で市民の方に森林とか木材のことについての理解を深めていただきたい。

先ほどアンケートにもありましたけれども、やはり森林所有者は、なかなか関心が持てない状態でありますので、その点やはり少しでも木を売ってお金を返したりとか、いろんな森林の役割について森林所有者さんに理解を深めていただきたい。

あと、私ども事業体自体も、80年ですから、その作業が1年で全部できるわけじゃないです。80年かかってやっと、僕らも今やっと全部の木を切るという作業に入ってきてつつあります。そういうので、技術面とかでまだサークルが一回回ってない状態ですから、そういう面で知識的にも技能的にも力をつけていかなきゃいけないと思っております。そのためには、この森づくりプランでいろいろな施策を何か一緒に進めていければいいかなというふうに思っています。

**【長坂星児経済環境常任委員長】**

ありがとうございました。

次に、金沢木工センター、尾崎理事さん、お願いいたします。

**【尾崎知恵子金沢木工センター理事】**

木工センターの尾崎です。

私ども木工センターといいますのは、木材を加工する、そして家具等にする団体でございます。ですから、基本的には家具屋が集まっている組合なんですけれども、私たちの木工センター等も後継者等の問題がいろいろございまして、非常に活気のない組合になっています。

最近、その木工センターの中で非常に目立つのが、高齢者の方々が退職されて、余った木材を使っておもちゃ等に加工する金沢おもちゃ工房というところが新しく活躍していらっしゃいます。

その方たちが何をやっていらっしゃるかといいますと、金沢市内のいろんな工務店から残材を集めてペレットにしたり、そしてもう一つは、残材をおもちゃに加工して、いろんなところで販売していらっしゃる。大きな悩みとしては、ペレットに加工したもの、そしておもちゃ等もつくることはできるんですけども、なかなか売れないということが非常に問題で、売り先を何とかいろいろ考えてほしいということが大きな問題です。

特にペレットに関しましては、金沢市も今、ペレットストーブの設置1件につき10万円の補助を出しています。このペレットストーブというのは、本当に1軒1軒にストーブを入れるよりも、かなりコストが安くて、集合住宅のアパート等でも、エアコンをつけるように配管をつけるだけでペレットストーブ等の設置ができますし、非常に導入費が安い。そういうふうなことについて、金沢の間伐材をうまくペレットにして、それを熱エネルギーとして少しでも活用できるような施策を金沢市としてもっとやっていただけると、そんな大きな力にはならないですけど、エネルギーの問題——こういうことは本当に少しずつやっていかないとできないことなので、そういうふうなことが非常によいことじゃないかなという

ふうに思っています。

あともう一つ、公共建築等での木材の利用を金沢市には大変やっていただいている。これからもどんどんされると非常によいことだと思っています。学校等でも木材を利用して、子どもたちがその自然の木に触れたり、環境として木の建物は健康に非常によいものであり、壁と床と全て木でできているっていうことはシックハウス症候群などいろんなアレルギーの問題や子どもたちの精神の安定に非常によいものだと同っている。日本全国あらゆるところで木の建物というものを非常に重視していらっしゃると思います。

私、たまたまこの森づくりプランという中の施策で、木を使って物を加工するという立場から、学校で教室の天板を金沢産材のものにするということを以前御提案させていただきまして、実施されてはいるんですけども、実際に金沢市でつくられているものは、木を集成材にして天板を加工して、それを傷がつかないかたいものに加工して天板にしているんですよ。私たちが学んだ浜松市天竜区等では、小学校1年生の入学生の全ての机の天板を間伐材からつくった板にして渡して、6年生になるまでその木材の天板をそのまま6年間使っていただいて、最後、6年間の自分のいろんな思い出として、卒業のときに持って帰って使っているものを提案させていただいたと思うんですけど、金沢市がしているのはちょっと違って、非常に圧縮加工している。これだと傷がつかないが、そこにお金をかける必要はないんじゃないかなというふうに思っています。

ちょっと生意気なようですけど、こういう機会があったので発言させていただきました。

以上です。

【長坂星児経済環境常任委員長】

ありがとうございました。

#### ・各関係団体とのテーマに関する意見交換

【長坂星児経済環境常任委員長】

それでは、ただいまの御意見などを踏まえまして、各関係団体の皆さんと経済環境常任委員との意見交換をさせていただきたいと思います。

発言をされます方は挙手をお願いしたいと思います。

まずは、委員からぜひお願いできたらなと思います。それでは、森尾委員。

【森尾嘉昭経済環境常任委員会委員】

森尾といいます。よろしく申し上げます。

金沢の農業の多くは米生産による生産額が占めてきたわけですが、今後の米づくりへの方策というのはJ A金沢としては5カ年計画の中でどんな位置づけをして展望を見出そうとしているのかというのが一つ。

それからもう一つは、さきほど岡嶋さんの話では、金沢の農産物は非常に人気

があるが、ニーズがあっても売るものがない。しかし一方では、生産者から見ると、生産しても生活できないという現状があります。

そこで、その源さんのさきほどの話から見ると、農業の物をつくってこそ農業なんです、これが生活を支えることがなかなか難しいというふうなお話がありましたので、その辺をもう少しお話しただけならと思います。

**【長坂星児経済環境常任委員長】**

それでは、内田さん、お願いできますでしょうか。

**【内田智樹金沢市農業協同組合営農部長】**

御質問の今後のお米についてということなんですけれども、JA金沢市では、管内の農家の中で米の生産者が一番多い。当然、その農地、田んぼの面積はやはり一番大きいというところで、今、一番問題になっているのは、やっぱり耕作している方が高齢化している。そして、後継者も少なくなっているということで、どうしても農業、お米をつくっていけないという部分があるのかなというふうに思っています。

そういった部分で、その集落単位の中で耕作できなかった部分をやはり受け取っていただかなければいけないということで、そういった部分をまずは担い手農家、大規模農家ですね。大規模農家の方に受けてもらう、または集落営農ということで集落単位でその部分を集落全体でカバーしていく。そういった部分の2つの方向で何とか水稻経営を維持できないかなと思っております。

現在、平野部を中心に集落営農等は非常に進んではいますが、やはり中山間地が問題の部分ではないかなというふうに思っております。中山間地の場合は、集落営農組織をひとつ立ち上げようと思っても、その集落自体がやはり平野部と違って小さいということ、また人も少ない、そしてそこに住んでいる方が高齢化しているということで、集落営農に取り組もうと思っても、その集落自体が非常に厳しいところに来てることかなというふうに思います。

今後、JAといたしまして、特に中山間地においては集落営農組織の立ち上げについても、もう一つの集落の輪を広げていただいて、1つの集落に限らずに、何とか地域ごとに2つ、3つ、4つといった集落を統合した中での集落営農という部分を何とか模索できないのかなというふうにも思っております。

あとは、やはり先ほど言ったように大規模農家の方、その地域の中でも頑張っで大きな面積をこなしている方、そういった方については当然後継者も十分育っておりますし、またそこに働いておいでの方についても十分確保されておるということで、そういったものの中でそこに耕作できなかった部分の農地を集約しているような形でやっていけないかなというふうに思っています。

同時に、当然、集落営農組織等の中で、JAといたしましては、例えば機械化の部分については、当然、行政の事業等も十分活用しながら、またJAといたしましても支援しながら、何とかそういった部分の結びつきをさせていただきたい

なというふうに思っております。

**【長坂星児経済環境常任委員長】**

それでは、源さんのほうからお願いします。

**【源時男金沢農業振興協議会副会長】**

私、専業農家でスイカとサツマイモをつくっております。

スイカにつきましては、スイカの単価は倍になるということはないんですね。ここ10年でも、1玉当たり幾らって決まっておるんですね。

上がるのは、資材のビニール、肥料、人件費ですね。下に敷くビニールは1年で捨てるような感じなんで、やはり単価が低いときは支払いするとほとんど手元に残らない。よいものはやはり共撰での選別が厳しいという感じで、やはり人件費が大きいですね。

また、収益率が高ければ単価も上がってくるんですけど、そう上手につくれるわけでもないし、うまい人はうまくつくっていますが、全体的にサツマイモは収益率は悪いです。

さっきも言ったが、新しい担い手さんとして大野に1人いるんですけど、ことは少しして、来年からは一人でするっていうんですけど、一応共撰体制の中に入れてあたることになりまして本人は頑張るつもりですけど、いざ一人でやったらどうかなという心配をしています。

以上です。

**【長坂星児経済環境常任委員長】**

岡嶋さん、何かございますか。

**【岡嶋啓介丸果石川中央青果株式会社常務取締役】**

短く言います。

森尾先生がおっしゃった、ニーズはあることはわかったけど、生産しても生活ができないという方もいらっしゃるという話は、そうなんですよ。やっぱり農業って大変だなと思うのは、夢を持って就農された方は、思い思いのものをいろいろつくるんです。言い方は悪いですが、やっぱりできるものってね、できそこないをたくさんつくるんですよ。

これを市場に出荷していただいても、やっぱりなかなか値段がつかない。俺が手塩にかけて育てたものをこんな二束三文でたたき売りやがってみたいなことちょっと怒られるんですけども、やっぱり買う側も真剣なものですから、スーパーも八百屋さんもそこまで出せないという話もあるんですよ。だからやっぱり農業は奥が深くて、そういうレベルに達するまでやっぱり年月もかかるし、腕も磨かなきゃいけないという大変な職業なんですよ。

なので、さっき言ったように、ある程度のロットを確保するためにも、そういう農協さんなんか中心にやってる共撰の世界にうまく入っていくような形のほうがやっぱりいいんですよ。でも、やっぱり何か夢を持って入ってこられる人は

スーパー農家を夢見て来る人も多くて、テレビではそういう人ばかり脚光を浴びているんですよ。本当に共撰のメンバーにはすばらしい人材がたくさんいるので、そういう人たちにストーリー性のある何か合ってるような方法が正しいんですよ、本当は。

だから、僕はそういうふうにしてやっていければ、皆さんや新しい人もレベルが上がりやすいというふうな、そういう何か道を考えてほうがいいんじゃないかなって、私は思っているんですけど。ちょっと答えになっていないかもしれませんね。

**【長坂星児経済環境常任委員長】**

ありがとうございました。

それでは、森委員、お願いします。

**【森一敏経済環境常任委員会委員】**

東さんですか。18歳から33歳までの青年グループということで、ちょっとお伺いしたいんですけども、青年グループの就農者の方々のルーツは、どんな感じですか。

**【東賢二金沢市農業青年グループ連絡協議会会長】**

農業青年としては、こちらにいる源さんの御子息も今一緒にやっているんですけども、農家の御子息とか、農業高校を出て、農業大学に行って、農業に興味を示して農業するという方がおいでたり、一回土木関係に就職されましたけど、やっぱりレンコンがしたいとかいう、そういう人が来て、いきなりレンコン掘っとるおじいさんのところに行って「弟子にしてください」という方もいる。前回在籍した方はそういう方でしたが、本当に今就農される方、新規就農されて農業青年に入る方は、皆さんそういうふうで、そうしたいっていう志がよくあります。農業青年でやっぱりしゃべっていても、僕らが入ったときよりも志が強く入っている。やっぱりルーツは御子息のほうが多いですけども、最近、本当五、六年は普通のサラリーマンの家庭から新規就農されたり、農家さんのところでちょっとバイトをされていて、僕もしたいという方も入られるようになっています。

以上です。

**【森一敏経済環境常任委員会委員】**

特に最近では農業するために農業に入るという、そういう若者がふえてきているという話で、とても本当に光を感じるわけなんですけど、旧来の地域就農者に対する行政の公的支援というもので、今おっしゃったような、新しい傾向というのにどこまで対応できるんだろうかっていう疑問がある。

私らは農業に携わっていませんので、そこの部分がミスマッチがないのかとか、あるいはこういう点でもっと公的な支援があると新規就農者にとっては非常に心強いとか、そういう観点がもう少しあれば伺いたいなと思います。

**【東賢二金沢市農業青年グループ連絡協議会会長】**

公的観点の支援という話でしたが、どうしても農業をしようと思っても、いきなり農家さんのところ行っても、あんた何や、って言われたりするとか聞いたんですよ。そういうときに、やっぱり農業、農家さんのことを知っているJAさんなり、金沢市なら農業センターなどがあったりするので、そういうときにやっぱり一緒に行ってあげて、紹介してあげるっていうのも手かなとは思いますが。どうしても知らない人がいきなり来たら、何？っていう感じが農家さんは特にあるので、そういうのをもうちょっと協力してあげるといいかなと思います。

**【長坂星児経済環境常任委員長】**

それでは、宮崎委員。

**【宮崎雅人経済環境常任委員会委員】**

先ほど岡嶋さんから、できそこないがあるって聞いたんですけど、最近、そういうものを加工して、例えばケーキに入れたりとか、キュウリは真っすぐじゃなくて曲がっていても漬け物にするとか、いろんなことがあるんですよ。そういうものを、例えば農協さんとかJAで、何かあっせんするとか、そういう漬け物業者などの業者と一緒に手を組むとか。

去年も食文化の関係で、加賀野菜を使ったケーキとかドーナツとか、いろんなものを作っているんですけど、まともなものじゃないんですね。どうせ細かく砕いてまぜるんですが、何かもっと粉末にするとか。

去年なんか、小松のお米のブランド化を見に行ったら、今後はそういう農産物をペースト化して、冷凍して、いつでもケーキとかいろんなものに使える。最近の料理なんかも和食もそうですけど、洋食の面とかそういうものでもいろんな使い方が彩り合わせて使ったり、金時草なんか特にきれいな色なんですけど、あれだけをおひたしにしても若い方がなかなか食べないということあるんですけど、彩りをうまく使ったりとかがあって、そういう面でのアドバイスというか、最近、食のアドバイザーという方もいますけど、JAさんとか農協さんのほうではどんなアドバイスとか、そういうものに対してやっているのかなというのを聞かせください。

**【長坂星児経済環境常任委員長】**

内田さん、よろしいでしょうか。お願いします。

**【内田智樹金沢市農業協同組合営農部長】**

今お尋ねの農産物の加工向けにというお話ですけれども、我々JAにもよく加工の業者さんから、今言われたような加賀野菜であったりとか、そういった部分での加工の取り組みの要請というか要望が多数あります。

やはり問題は、その加工業者さんの望んでおるのは、今ほど委員が言われたように、別に規格外品でもいいんですけどっていうことは理解できるんですが、ただ、生産者側からすれば、そういった規格外品をつくっていたんでは、もともと採算が合わない、所得が上がらないということで、やはりよいものをつくりたいとい

う部分がございます。

規格外品は確かに出るんですが、業者さんが望んでいるのは、規格外品だから全然手をつけなくてただ捨てたようなものでもよいのかといたら、それはやはりだめなんですね。やはり傷んで腐っているものとか、そういったものは最低限排除した中での規格品というものをつくらなくちゃいけない。しかもそういったものでも一番安く手に入れたいというのが業者さんの思いです。

生産者サイドから、そういった規格外品の部分をそういった業者さんの要望の中での手を加えるということになると、やはり望んでいる価格は業者さんの望む価格よりも高くなってしまいう部分もあります。また、規格外品の部分というものが、先ほど言ったようにもともとそういったものをつくっているわけではございません。あくまでも出るものですので、やはり加工業者さんはそういった規格外品のロットを大きく望みます。ごくわずかなものでいいということではございません。

しかも、当然、加工向けに利用するわけですから、量と期間を求めてきます。逆に生産者のほうは、出れば出しますよといったような中身になってしまいますので、そういった分の突き合わせというのはなかなか厳しいのかなと思います。

ただ、そういった中でも全くないのかといいますと、そういうことではなしに、現に加賀野菜の一つの五郎島金時あたりはそういった部分の規格外品のものをうまく利用して実際に加工向けのペースト等にも利用させていただいています。ただ、そういった部分は、五郎島金時の場合は生産量、作付面積が非常に大きくて、そういった中でのやっぱり規格品がある程度まとまるんですよという部分がやっぱり大きいのかなというふうに思っています。

【長坂星児経済環境常任委員長】

ありがとうございました。

ほかにもございますか。よろしいですか。

それでは、委員と今の関係団体の皆さんとの意見交換は終了させていただきます。

#### ・市民とのテーマに関する意見交換

【長坂星児経済環境常任委員長】

時間がございますので、次に、本日のテーマと今ほどの御意見等も踏まえて、市民の皆様と市議会との意見交換ということで、この会場の皆さんとの意見交換をさせていただければというふうに思います。

意見交換に当たりまして、幾つかお願いをさせていただきたいことがございます。

発言を希望する方は挙手をお願いいたします。私が指名しましたら、係員がマイクをお持ちしますので、お住まいの町名とお名前を言ってから、できるだけ端

的にまとめて発言をいただければなと考えております。

また、今回は議会として開催している意見交換会ですので、議員の個人的な見解は述べないこととしておりますことを御了承願います。議員個人の考え方や意見を聞きたい場合は、意見交換会終了後にそれぞれの議員に対して質問されるようお願いいたします。

本日の意見交換会の内容は、後日、金沢市議会のホームページに掲載いたします。皆様方からいただきます御意見につきましても掲載させていただきますので、あらかじめ御了承をお願いいたします。

最後に、会場の都合もありまして、進行ぐあいによって途中で意見交換の時間を打ち切らせていただく場合もございますので、まことに申しわけございませんが、あらかじめ御了承ください。

それでは、本日のテーマについて、また御意見のある方は挙手をお願いできればなというふうに思います。

#### 【参加者】

済みません。きょうは大切な本当にこういう会を催していただき、まことにありがとうございます。

先ほどからお話を聞いていても、川下の畑とか、水田のことばかりなんですけれども、私は川上の山なんです。森林組合の河崎さんも先ほど言われましたけれども、アンケートをとったら、ほとんどの山林所有者が森林に全然関心がないと、こういうふうに出ていましたね。

川下では資産運用やとか区画整理とかやっとなるけど、川上の山はそんな区画整理もなければ、熊が出てくるとか、イノシシが出てくるとか、こんなものの対策で減作をしている。イノシシをその中へ入れないとか、こういうような対策するけれども、それは一部のところで、あとはもう大変になっとなるですわね。

ほんで、それが大変になっとなるっていうことは、山がもう死活問題になって木の価格も低迷して安い。私、はっきりと言いますけれども、利用される方が金沢産材でも石川県産材でも木が安いと言われるならほんでいいけれども、高く使えんと、私のところへ情報が入ってきとるんですよ。私らも林業の仕事をやりますして28年ほどたちますけれども、私のところへ、「木が高いから、あんたたちの木を少し私のところに売ってくれんか」と。「ほんならこんだけあげますよ」と言ったら、「何でほんなに安いがや」と。「これは、あんた産直やよね」と。なるほど、そこから買うたら木が安いんですね。

本当に森林組合でもいろいろとお話ししとれんけれども、山にあるものをそんなまちの中まで運んでいろいろと持って行って、動かしや動かすほど経費がかかるわけやね。そういうことを今やっとなるんです。

何の改革も何もないわけやね。改革も何もない中で、木が高いって言うても、地権者にまで還元されず、ゼロなんです。

80年余りの大径木の木があって、これは僕らが植えたもんじゃない、先代の先代ですわいね。その方に対して価値がないさかいお金は還元できませんぞと、こんなシステムって世の中にわしはあるんかなと、もう不思議でしゃあない。

そして、この利用される方が、安くて安くて、ああ、使います、使いますって言うのが、高くて使えないと。どこでこういうふうになっとなるかっていうことを検証をせんないかん時期に差しかかってきとるんじゃないかなとということで、どうしたらコストが削減できるかとか、有効な活用をしていくかとか。

私は、木の駅プロジェクトとって2年ほど前から金沢市の補助事業を受けてやっている。木の駅というけれども、金沢市内には竹がたくさんあるんですわね。みんな荒廃して誰ももう竹は要らんのやけれども、私のところで買い上げるから持っておいでと。それである程度買い上げして、地域通貨券という森券を出しとるんやね。ほんで、地域の商店も活気が出てくると。

今、その要らないものの人気が出てきて、この間から大変や。ほやし、ああ、いいこと考えたなど。これはやっぱり野菜でも米でも考え方一つねんて、何でも。やっぱり以前の方の言う「もったいない」という言葉を何かにかえてあげよう。ほんで、今、それをやったところ、すごく人気が出てきて、注文殺到ですわ。

産直だから誰にも渡さんのやと。我々がつくって、我々が施行してやりますと。この間、金沢市の施設からも注文がありまして、それを見た人が「うちもこんなんしたい、こんなんしたい」と言って、今順番待ちやわね。こういううれしいことがあります。

ほんで、山の改革やね。平地のほうでは区画整理とか資産運用でアパートとか建てとるけれども、山に関心がない。杉の木とか価値がないものを植林してもそれはしゃあないけれども。

**【長坂星児経済環境常任委員長】**

ちょっと端的にお願いします。

済みません。そうしましたら、現状と竹の話とか、しっかりと参考にさせていただいて、委員会でも意見をもらせていただきたいと思います。ありがとうございます。

済みません。最後に、町会名だけよろしいですか。

**【参加者】**

金沢市の南四十万。

**【長坂星児経済環境常任委員長】**

ありがとうございます。

そのほかどなたかいらっしゃいますか。

**【参加者】**

五郎島生産組合の者です。

端的に言ってくれということ、まずやはり農業というものを皆さんがあんま

りわかっておられんのかなと。例えば自然災害があります。台風が来た、風が強い、家の瓦が飛んでくる。そして、大雨が降った、自動車が冠水する。熱中症で倒れると言いますが、我々農家のお金は全部畑にございます。雨が降ったら傘を差してあげられません。風が吹いても防風林もできません。暑くなっても野菜はクーラーの部屋に移動できません。大変でございます。

そして、ことし4月17日にすごい風が吹きました。我々、先ほどからずっと後継者とかなんたらとか言いながら、やはりコストが高い中、コストが上がっている中、これを一生懸命生産しております。それに追い打ちをかけるように、強風が吹きまして、野菜は傷つき、土表の畑は砂が飛んでいき、農道は埋まり、大変なことになりました。それでいろいろと関係機関に当たりながら、支援はないかと伺ったわけですが、皆様の大変な御尽力もいただいたんですが、我々としたらまだまだ不足でございます。もう少し農作業、畑というものは自然を相手にしてやっていて、自然災害が来たら一番苦しいのは我々だということを頭に入れていただいて、少しでも我々のことを考えて、何か要請があったら耳を傾けていただきたいと思えます。

それで、よく知っていただきたいということなんですけど、我々のところには防風林がございます。林業の方はわかっていると思いますが、やはり年々木が大きくなります。大きくなれば風は防げるんですけど、野菜は陰になったり、生存競争で収穫が落ちます。やはり保安林をしっかりと手入れしていただきたいと思えます。

以上でございます。

**【長坂星児経済環境常任委員長】**

ありがとうございます。

しっかりと今受けとめさせていただいて、これからまた委員会、議会でもしっかりと伝えさせていただければなと思えます。ありがとうございます。

そのほか御意見ある方、いらっしゃいますでしょうか。

**【参加者】**

医王山地区に住んでいます。

3点申し上げます。

一つは、森林、医王山ですから杉の植えつけが非常に多いわけです。その結果何が起きているかいうと、水不足なんです。杉林になったら広葉樹がないものですから、非常に水不足が起きて困っている。

杉を植えられたところ、今度は森林組合さんが金沢市の森林再生課のもとで頑張っておいでるんですが、従来は人力とか作道で作業されとったんです。そこへ重機を持ち込んだから、山が荒れたんです。我々はその山から流れた水で生活してるんです。表土が動くとふもとじゃ川が濁るんですよ。これ大問題で、生活できなくなるんですよ。だから、何とか表土が荒れない森林再生というものを確立

いただきたい。

それからもう一つは、今伐採の時期にかかっている、これはよくわかるわけですが、その伐採と森林からの搬出の経費はなかなか問題点が非常に多くて、価格が低迷すると今度は出せない。出せないものを何で植えるんだと、こういうことなんです。

大事なのは、緑を植えるということは一生懸命に協力されました。私ども子どもころに植えた木は今伐採の時期にかかるわけですね。ところが、その木を使って、「俺、住宅建てよう」という心は働かないの。これはもう最大の問題なんです。何でもいいから我が家を新築するとき10本ぐらいは、支柱は自分のところの木で建てようという心をやっぱり植えつけること、この教育が非常に大事だそうです。緑は大切だということと違うんです。地元の木を使うんだと。先ほど地産地消の話もあったんですけど、ここのところが一番大切なテーマだと思っております。

金沢市民は、富山県境とのこの山々の恵みがあってこの平野部が生活できるわけ、まちがね。そのことを絶対忘れないでいただきたいと思います。

以上です。ありがとうございます。

**【長坂星児経済環境常任委員長】**

ありがとうございました。

3点いただきました。いずれにしましても、しっかりと受けとめさせていただきたいというふうに思います。非常にありがとうございました。

時間も迫ってまいりましたので、この意見交換会はこのあたりで終了とさせていただきます。ありがとうございます。

また、なお、受付の際にお渡ししました封筒の中にアンケートが入っておりますので、御記入いただきまして、お帰りの際に受付でお渡しください。

また、次回以降の意見交換会ですが、9月定例会月議会以降に開催を予定しております。詳細が決まりましたら、市議会ホームページでお知らせをいたしますので、お越しいただければ幸いです。

## 6. 閉 会

**【坂本泰広経済環境常任副委員長】**

それでは、閉会に当たりまして、金沢市議会の野本正人副議長からお礼の御挨拶を申し上げます。

**【野本正人金沢市議会副議長】**

本日は、皆様方から大変貴重な御意見、御提言をいただき、まことにありがとうございました。皆様の御協力のもと、活発な意見交換会ができたことを心より感謝申し上げます。

本日のテーマは、「金沢の農業と森づくりプラン2025」についてという市民生活

に大変かかわりの深い大切なテーマについて意見交換をさせていただきました。

いただいた御意見や御提言を全て反映していくということは難しいと思いますが、我々議員一人一人が真摯に受けとめ、その実現のための方策についてしっかり議論を交わし、一つでも多く市政に反映していきたいと思っております。

今後とも忌憚のない御意見をお寄せいただき、市民の皆様とよりよい金沢市政をつくってまいりたいと、このように思っているところであります。どうぞよろしくお願ひいたします。

最後になりましたが、本日は遅い時間に皆様お疲れのところ御参加いただき、本当にありがとうございました。(拍手)

**【坂本泰広経済環境常任副委員長】**

それでは、これで意見交換会を終了いたします。

本日はお忙しい中お集まりをいただきまして、本当にありがとうございました。

お疲れさまでした。(拍手)

以 上